

(国研) 科学技術振興機構

令和6年度次世代科学技術チャレンジプログラム(小中型)事業

歴史的な文化資源とグローバル教育資源を活用した次世代人材育成プログラム「つやま STEAM 人材育成塾」

大原美術館・ ライフパーク倉敷科学センター 見学のしおり



写真：(左) 大原美術館HP <https://www.ohara.or.jp/>

(右) 倉敷科学センターHP <https://kurakagaku.jp/mediaimage.html>

日時 令和6年9月14日(土)

場所 <大原美術館>

倉敷市中央1丁目1-15

☎086-422-0005

<ライフパーク倉敷科学センター>

倉敷市福田町古新田940

☎086-454-0300

氏名 _____



津山高専 つやま STEAM 人材育成塾

1. 見学のがい要

(1) がい要

■大原美術館

みしゅうがくじ
未就学児から大学生まで幅広い年代に対して対話型アートかん賞の指導実績が豊富な大原美術館と
連れいした講座を実施します。対話型アートかん賞は、ニューヨーク近代美術館で開発された美術の
かん賞法です。一つの視覚教材をみんなで囲み“見る・考える・話す・聴く”をくり返すことで「自分で
感じたことを言葉で説明する力」や「他人の意見を深く理解し受け止める力」が養われ、かん賞力だけ
でなく、論理的思考力やコミュニケーション力といった総合的な能力の育成につながります。

■ライフパーク倉敷科学センター

科学のおもしろさを体験できる「科学展示室」と、「プラネタリウム」や「全天周映画」の2種のプロ
グラムを上映している直径21mの大型ドームから成る科学館です。「プラネタリウム」の座席数は165
席。解説員によるその日の星空の肉声解説や星や宇宙の話題が聞け、星空散歩が楽しめます。また、科
学展示室では科学のおもしろさやすばらしさを体験できる約100点の展示物を設置。科学の楽しさをほ
だで感じることができる施設です。

(2) 日程 令和6年9月14日(土)

(3) 訪問先

<大原美術館>

倉敷市中央1丁目1-15

☎086-422-0005

<ライフパーク倉敷科学センター>

倉敷市福田町古新田 940

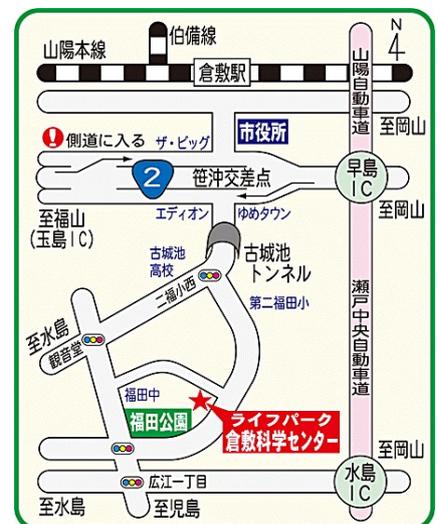
☎086-454-0300



<https://www.ohara.or.jp/access/>

(4) 持っていくもの

- ・筆記用具
- ・お弁当
(ご都合によりお弁当を途中のサービスエリア等で買う必要がある場合は、引率教職員にお声がけください。)
- ・必要であればよい止め薬
- ・おこづかいについては、小中学生の常識的な額の範囲で持たせることは可



<https://kurakagaku.jp/access.html>

(5) スケジュール

午前	8:15 津山高専 集合 (ふん水前)
	8:30 出発
	10:20 バス駐車場 とう着
	10:30 大原美術館へ入館
	<u>※現地集合の受講生は大原美術館中庭に集合してください。</u>
	10:40 対話型かん賞
	11:10 自由かん賞
	12:00 大原美術館出発
	<u>※現地集合の受講生も大原美術館→倉敷科学センターの移動はバスにご乗車ください。</u>
	12:30 ライフパーク倉敷科学センターとう着
	館内で昼食 (お弁当をお持ちください)
午後	1:00 見学 (30分程度のガイドあり)
	2:00 プラネタリウム
	3:05 正面玄関外へ集合
	3:15 帰路出発
	現地集合の受講生解散 (保護者の方のお迎えをお願いします)
	※保護者が来られるまで引率教員が科学館入口付近で待機します。
	5:00 津山高専帰着 解散
	※帰着時間は交通事情により前後する可能性があります。

- (6) 保護者等の参加 保護者やご家族の方も入館いただくことが可能ですが、入館料は各自でお支払いください。(倉敷科学センタープラネタリウムは受講生人数分の座席を予約しておりますので、保護者やご家族の方が入室される場合は、受講生とお席が離れる可能性があります。)

<参考: 大人の入館料> 大原美術館: 2,000 円

倉敷科学センター: 科学展示室 410 円, プラネタリウム 500 円

(7) 集合・解散場所

【津山高専集合の方】

8時15分に総合理工学科南館 正面玄関前

(ふん水前)にお越しください。

駐車場は空いている場所をご利用ください。

【現地集合の方】

現地集合の方は、10時30分までに大原美術館中庭にお越しください。(駐車料金は各自ご負担ください)



大原美術館からライフパーク倉敷科学センターへの受講生の移動はバスに乗りいただきます。
解散は15時15分頃を予定しております。ライフパーク倉敷科学センター正面玄関までお迎えをお願いします。(保護者の方が来られるまで、引率教員が入口付近で待機しております。)
また、保護者の方やご家族も入館いただくことは可能ですが、入館料は各自でお支払いください。

(8) 緊急連絡番号

090-7370-0811

(当日引率教職員が持っております。)

※前日までのご連絡はつやま STEAM 人材育成塾事務局 (0868-24-8402) まで
お願いします。



(9) 体調管理についてお願い

当日体調が悪い場合は、無理な参加はしないようにして、健康第一の行動をしてください。
(当日欠席の場合は、090-7370-0811までご連絡をお願いします。)

(10) 当日のバス出発時刻等の連絡について

当日は、倉敷科学センターを出発したタイミング、および、途中休憩のタイミングで、Microsoft Teams[032]つやま STEAM 人材育成塾 第一段階プログラム 2024 チームにその旨投稿します。お迎えの参考になさってください。

(操作手順は7/13 開講式でお配りした「Microsoft Teams の操作手順」をご参照ください。)

2. 大原美術館

大原美術館は、倉敷を基盤にはば広く活やくした事業家大原孫三郎^{おおはらまごさごろう}が、画家児島虎次郎^{こじまとらじろう}を記念して昭和5年に設立した、日本最初の西洋美術中心の私立美術館です。

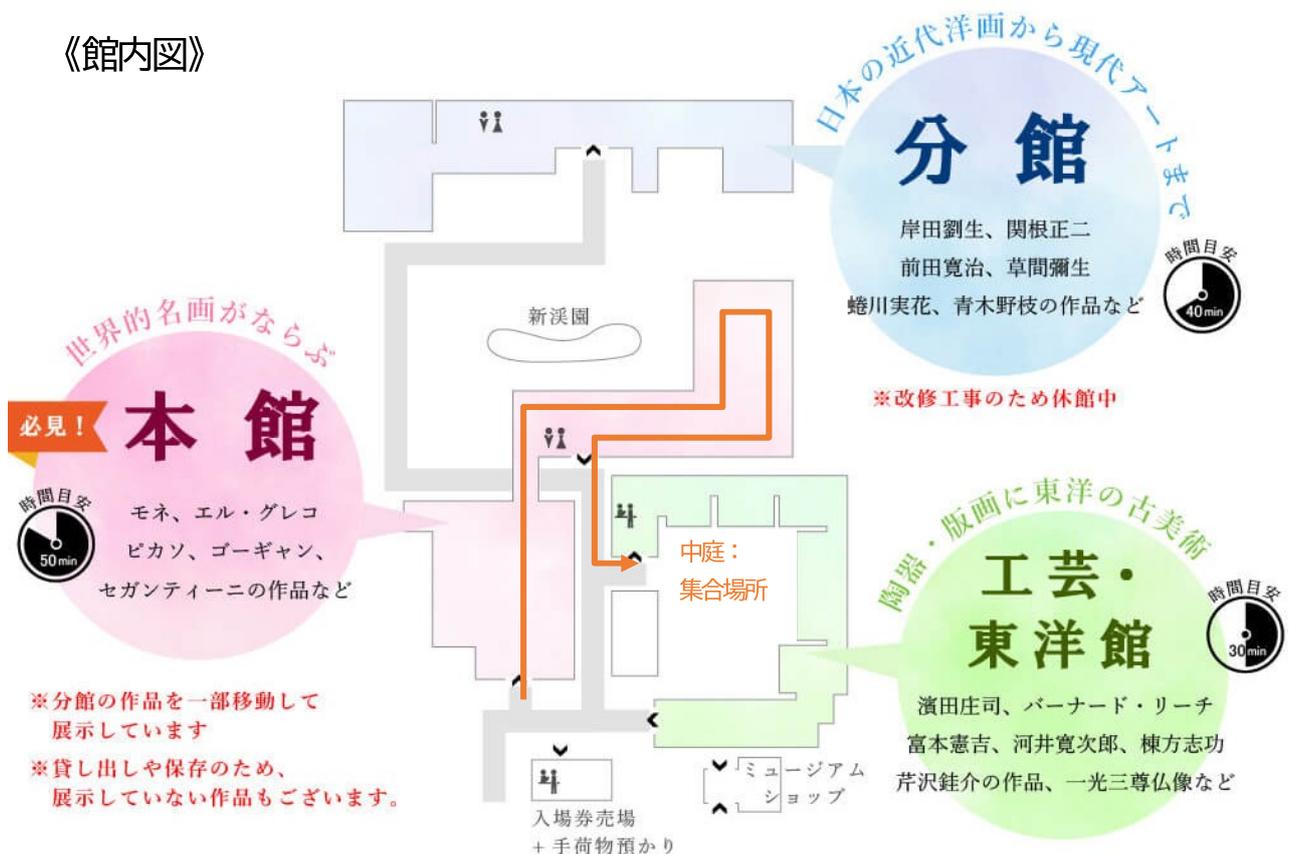
日本美術のコレクターでもあった孫三郎は、親しい友人虎次郎の才能と、美術に対するしんしなせいを高く評価し、三度にわたる渡欧^{とおう}をうながします。虎次郎は、そこで制作にはげむかたわら、孫三郎の同意のもと、日本人としての感覚を総動員してヨーロッパの美術作品を選び取るという作業に熱中します。

明治の気骨^{きこつ}を持つ虎次郎の選たくは、東洋の感覚と西洋美術の精華^{せいか}との真けん勝負でした。彼は、エル・グレコ、ゴーギャン、モネ、マティス等、今も大原美術館の中かくをなす作品を丁寧に選び、倉敷にもたらします。同時に進めた中国、エジプト美術の収集にも、東西のはざままで悩みつつ文化のげん流にせまろうとした虎次郎の心情がうかがい知れます。

大原美術館は、その後も、倉敷の地にあつて活発な活動を続け、西洋の近代から現代の美術、日本の近代から現代の美術、民芸運動にかかわった作家たちの仕事等にコレクションを広げ、日本人の心情にうら打ちされた独特の個性を発するユニークな民間総合美術館として世界に知られるようになりました。

今、大原美術館は、現場で子供達や社会人とふれ合う種々の教育ふきゅう活動に加え、毎夏のアート講座や、世界を代表する音楽家をむかえてのギャラリーコンサート等を通じ、諸芸術のフロンティアと広く関わりながら、21世紀に生きてやく動する美術館として、多さいな活動をてん開しています。

《館内図》



■大原美術館予定

- 10:30 大原美術館へ入館
マナーのお話
- 10:40 対話型かん賞
- 11:10 自由かん賞
- 12:00 大原美術館出発

■対話型かん賞で取り扱う作品一覧

シニャック 《オーヴェルシーの運河》	ピカソ 《頭蓋骨のある静物》 <small>がいこつ せいぶつ</small>
セリュジェ 《2人のブルターニュ人と青い鳥》	北城 《WaitingLight-muison-so》 <small>ほうじょう</small>
ピサロ 《りんご採り》	カンディンスキー 《尖端》 <small>せんたん</small>
児島 《お茶時》	キリコ 《ハクトールとアンドロメケの別れ》

美術館の展示室では下記のことにご注意しましょう

1.作品にはさわらないでください。

- 作品が傷つきますし、そっとさわっても、手のあぶらや汚れのために、長い年月の中で、作品にシミができたりカビが生えたりします。
- リュックサックやぼうしが作品に当たらないように気を付けて見てください。

2.展示室内では食べたり飲んだりしないでください。

- 飲食物が、作品についたら汚れてしまいますし、食べかすが虫をよび、その虫が作品を食べてしまうことがあります。そのため展示室内に食べ物を持ち込むときは、かばんにしまい、飲み物(水とうやペットボトル)のふたはかたくしめてください。
※建物の外であれば、飲食可能です。

3.建物内ではふざけたり、走ったりしないでください。

- 作品や他の人にぶつかるかも知れません。危ないのでふざけたり走ったりしないようお願いいたします。
- 作品の前のさくでも遊ばないでください。これは作品保護のためのものです。体重をかけるとこわれてしまうことがあります。

4.話すときは小さな声でお願いします。

- 大きな声は、他の人のかん賞のさまたげになります。
- 大きな声で話すと、つばが作品にかかることがあります。それが、シミやカビの原因になります。
- 展示室内で携帯電話を使わないでください。通話や、また着信音も他の人のかん賞のさまたげになりますので、電源を切るか、マナーモードでお願いします。

5.カメラ、ビデオ、携帯電話を使つての撮影はご遠りください。

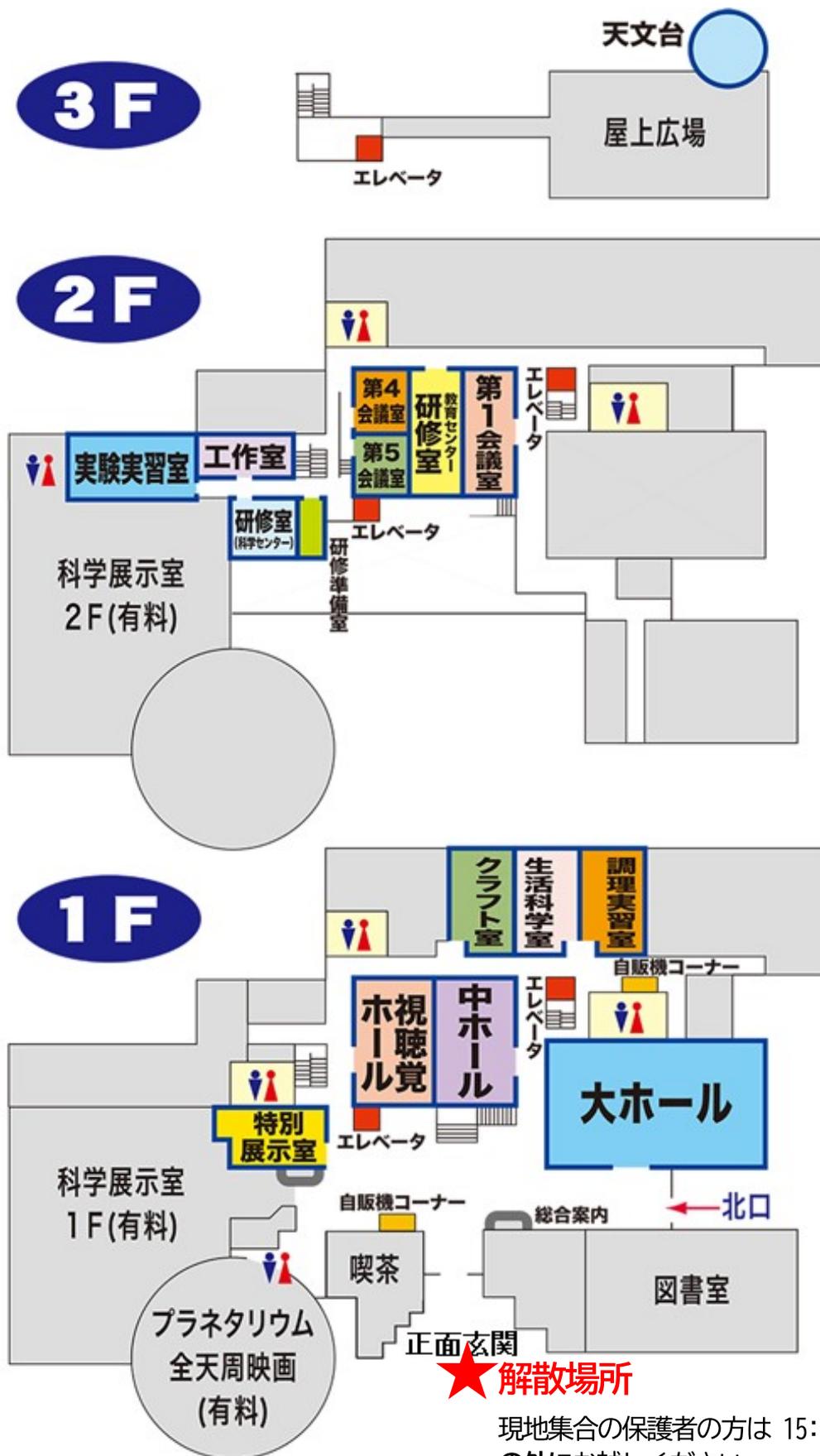
- フラッシュの強い光は、作品の色あせにつながります。
- フラッシュやさつえいの音は、他の人のかん賞のさまたげになります。
- 作品(作者)には「著作権」があります。作者の許可を得ず、さつえいしたものを公開すると、著作権をしん書する場合があります。

6.メモする時のお願いです。

- えんぴつ、またはシャープペンシルでお願いします。ペン・マジックのインクなどが、作品についたら消すことができません。
- メモする時は、まわりのお客様にご配慮ください。他の人も作品を見たいと思っています。ゆずりあってかん賞してください。
- 消しゴムは使用しないで下さい。
- 床、壁、展示ケースに押し付けたり、もたれたりして書かないでください。作品に当たってしまうおそれがありますし、壁が動いて作品が落ちる可能性があります。

ライフパーク倉敷科学センター

1. ライフパーク倉敷科学センター館内図

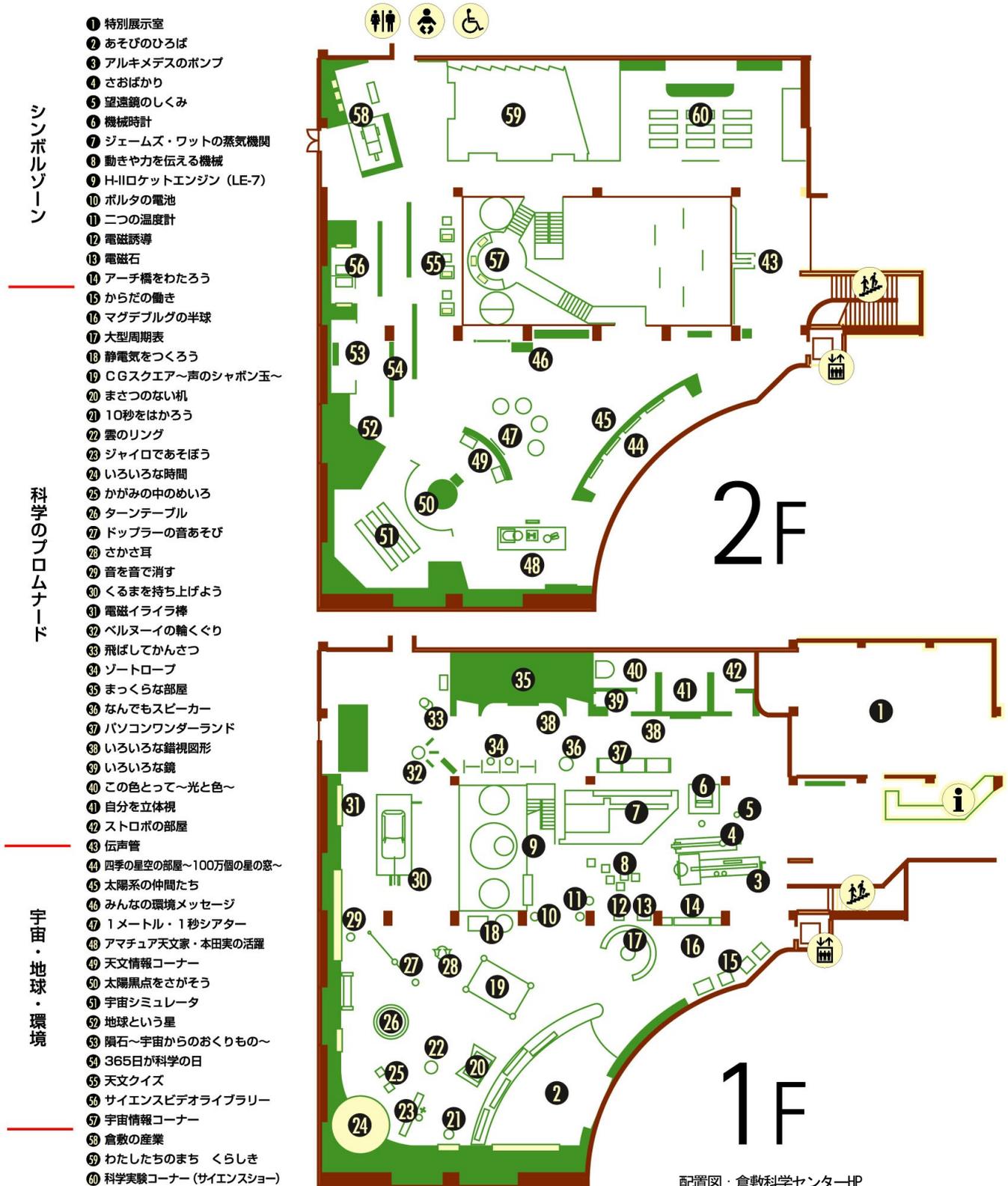


現地集合の保護者の方は 15:15 に正面玄関の外にお越しください。

2. 科学展示室 展示配置図

子どもたちに人気のCGスクエアや国産技術で作られたロケットエンジンの実物など、科学のおもしろさやすばらしさを体験できる展示を約100点設置しています。

1階は大型展示が立ち並ぶ「シンボルゾーン」や科学体験の仕組みにあふれた「科学のプロムナード」、2階は星座や星の世界をさぐり地球環境の^{とと}尊さを考える「宇宙・地球・環境」などがあります。



配置図：倉敷科学センターHP
<https://kurakagaku.jp/exhibition.html>

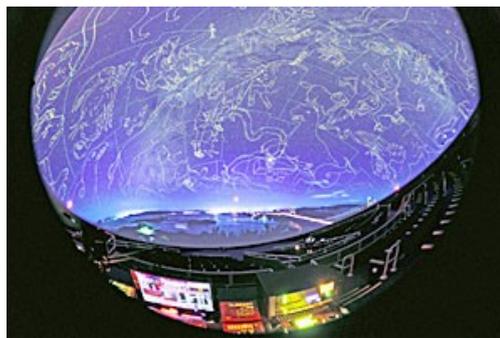
3. プラネタリウム

中国地方最大級の規模をほこる科学シアターです。座席数 165 席、直径 21m のプラネタリウムでは、1 億個の星を映写できる国内最高水準のプラネタリウム・五藤光学製ケイロン ハイブリッド CHIRON III HYBRID を導入。解説員 による今夜の星空の解説などがあります。

前半は、その日の夜の星空をめぐる天文の専門家による生解説があります。星座は 1 年かけて ゆっくり 移ろい、月や惑星の見え方も日々変化するため、星空は毎日 違った表情を私たちに見せてくれています。

その日の夜空を楽しめるように、当夜 21 時の夜空を プラネタリウムで再現します。星座の探し方からおすすめ天文現象まで、ドームの下での星空散歩を楽しむことができます。

また後半は、星や宇宙などさまざまな話題をテーマに、プラネタリウムの星空や 貴重な画像や 迫力あふれる映像などを多用したショープログラムをみることができます。



写真：倉敷科学センターHP
<https://kurakagaku.jp/spacetheater.html>

課題（宿題）の提出について

倉敷科学センター科学展示室を見学して、最も印象に残った作品をひとつ選んで、簡単な内容の説明と、どのような点に関心を強く持ったのかを A4 用紙 1 枚にまとめてください。図や写真を加えるとより分かりやすいレポートを作ることができます。

課題提出は Microsoft Teams から行ってください。

提出期限は 10/5（土）です。

一番上に「受講生番号」「氏名」
次に「関心を強く持った展示の名前」
続けて「本文」を記述してください。

